

教 育 文 厚 生

阿久比町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

Q 以前の条項に、今後36条2項を加えるということだが、サービスの内容を書いているのか。

A 地域密着サービスの種類。認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護の基準・人員が書いてあり、記録の整備となる。

Q 夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護が付け加えられたが、これらのサービスは今までどこに規定されていたか。

A 今回加わったものは、地域密着型通所介護の事業で、それ以前から他の3つの事業は地域密着型サービスに組み込まれていた。しかし、本町ではサービスを提供する事業所がなく、今後この事業も推進していかなければいけないということので条例に追加した。

Q 特別養護老人ホームのニーズが増えてきた場合の対応。

A 施設の数については、3年ごとに検討する。

平成28年度阿久比町一般会計補正予算

Q 子どもの数が増えているのに、一時預かり事業費が利用者減で減額になっているのは。

A 国の基準による補助金で賄われたので減額になった。民間3園が余裕型といつて他の児童と一緒に預かる体制をとっていることもある。



4月開園のSAKURA保育園

Q ふれあいの森のデイクャンプ場整備の工事は。来年度の予算に計上していないが、今後は。

A 昨年9月に、1千200万円計上。補助金申請は今回見送り、再度挑戦したい。

平成29年度阿久比町一般会計予算

Q 相談支援事業を今までの2市2町から町単独でやるのとことだが、どのような体制でやるのか。

A 相談者は継続して、「もちの木園」を通じて、「愛光園」、「憩いの郷」で対応してもらおう。相談業務も東浦町の「らいつ」で愛光園の相談員2名で対応する。

Q 民間保育園運営で中部保育園の0歳児保育が0人となっているが。

A 保育士不足。保育園の事情で今回0歳児は預かれないので予算も0になった。

Q 民生委員と民生委員協力員の関係をあいまいな形で協力すると、問題が生じるのでは。

A 協力員を必要と思う民生委員が、行政協力員と候補者を民生児童委員協議会に推薦する。承認後、町長が推薦町が委嘱する。

Q ロコモティブシンドロームについては。
A ロコモティブシンドローム予防教室をス

ポーツ医学研究所の医師、理学療法士、トレーナーが担当し、60歳〜74歳の定年後の方を対象に、運動中心の講義、実技と計測を行う。



平成29年度阿久比町介護保険特別会計予算

Q 電子連絡帳システム使用料とは。

A 在宅での医療介護連携にICT(情報通信技術)を導入する。他職種と連携して情報交換する。

平成29年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算

Q 後期高齢者医療になると、人間ドックの助成はなくなるのか。

A 75歳以上になると後期高齢者医療に変わる。人間ドック・脳ドックは国保の事業なので対象にならない。他市町を参考に今後研究していく。

(田中 千代子 議員)

Q 国民健康保険税が減額になっているが、対象者は増えているのか。

A 雇用保険の拡大等により国民健康保険の加入者は増加しないと見込んでいる。